



# ひるの星

No. 248

もくじ	
バブの言葉.....	.2
バブの物語.....	3
クイズ.....	12
ぬり絵.....	13
工作.....	14
みんなの写真.....	15
保護者のページ.....	.16

われ  
「我こそ、我こそ、  
やくそく もの  
我こそが約束された者である。  
がた いっせんねん  
我こそがあなた方が一千年もの間  
な せつぼう  
その名を切望してきた者であり、  
の  
その名が述べられるやあなた方が  
た あ もの  
立ち上がる者であり、  
とうらい  
またその到来を  
もくげき ほっ  
目撃することを欲し、  
けいじ とき いっこく はや しみ  
その啓示の時を一刻も早くと神に  
いの  
祈った、まさにその者である。」

バブ

## ものがたり バブの物語

おきなわ がつ すず ひ こども  
沖縄の10月の涼しい日でした。子供たち4人

いえ よこ ひろ あ ち  
が家の横の広い空き地でローラースケートを

しながらおに 鬼ごっこをしていました。お母さんは

こかげ 木陰でアニサといっしょにすわ 座って、その様子を見ながらスケッチをしていまし  
た。

なに か 何を描いているの、お母さん？」と、幼いアニサがたずねました。

あした たんじょうび いわ かざ かあ せつめい  
「これは明日のバブの誕生日を祝う飾りつけにするのよ。」とお母さんが説明  
しました。

たんじょう 誕生日パーティがあるの？」とアニサが手を叩きながらさけ 叫びました。

これをき 聞いた4人の子供がわら 笑いながらいき 息をはずませてちめん こし 地面に腰をおろし  
ました。

たんじょうび 誕生日だって？」とアスマがいきぎ 息切れをしながらたずねました。

はなし 話をしてくれる？」とアスマがつか み 疲れを見せたくなく

て、その話でいきぬ 息抜きをしようと思いました。

「やった！」と子供たちがさけ 叫びました。みんな、かなりつか 疲れていました。

「はい、はい、わかりました。」とお母さんが言っはじ 始めてました。

「バブはじゅうがつ はつか 1819年の10月20日にペルシャで生まれました。バブとモハメ

ットのお話はおどろ 驚くほどきょうつうてん 共通点が多いのよ。バブもモハメットもおさな 幼いときお父





さんを亡くしました。モハメットは叔父さんに育てられたんだけど、バブもそうなのよ。モハメットの叔父さんの職業は何だったか、憶えている？」とお母さんがたずねました。

「商人でしょ。」とモナがそれを憶えているのを誇らしげに答えました。

「商人って何？」とアニサがたずねました。

「物を買ってきて、それを売る人だよ、アニサ。」とアスマが説明しました。

お母さんが続けました。

「バブとバブのお母さんは叔父さんと住んでいたのよ。叔父さんはバブが小さいときから学校に行かせました。あるとき先生がバブにコーランの第一章を

暗唱するように言いました。みんなコーランって何か覚えている？」

「モハメットが神様の言葉を伝えた聖なる書でしょ。」とシャラが自分にも答え

られると言わんばかりに言いました。

お母さんが続けました。

「イスラム教徒はアラビア語だけでコーランを読んだり、暗記したりしていました。しかし、バブはペルシャに住んでいたし、多くの方はアラビア語なんて理

解できませんでした。みんなペルシャ語で話していたからです。バブは先生に

その意味が分からないときは暗唱しないとしました。先生は自分もその意味

が分からない振りをしました。するとバブは、その意味が分か





ったと言って先生のお許しがあれば、説明すると言いま

した。先生はまだ幼いはずのバブがはっきりと美しい

口調で外国語であるコーランの第一章を説明したのにとっても驚かされました。

先生はバブを叔父さんのところに連れて行って言いました。『この子には私の

様な先生は必要ありません。』さらにバブはふつうの子供のように扱うべきで

はありません。この時代の主があかされた神秘の力のあらわれがすでにこの子

に見られます。その意味はバブには神様の特別な力があるのを先生が分かった

からです。しかし、叔父さんはバブを叱っただけで、学校に戻って黙って席に

ついて先生の言われたことを聞くようにと言いました。」

「叔父さんはいじわるね！」とアニサが言いました。お母さんが微笑んで続けました。

「バブは幼いときは多くの時間をお祈りして過ごしました。バブのお母さんは

小さい子供がお祈りにそんなに時間を使う必要はないとバブにいました。する

とバブは、『お祖父さんのようになりたい。』とか『お祖父さんと話したい。』と

答えました。みんなバブの答えた意味が分かる？」とお母さんがみんなにたず

ねました。子供たちは顔を見合せて首を振りしました。

「バブはね、モハメットの直系の子孫だったの、だからバブはモハメットのひ

い、ひい。。。ひ孫なのよ。バブは大人になるとモハメットの家系であるしるし

の<sup>みどり</sup>緑のターバンをかぶりました。」

「あー、そうか。バブはひいひい。。。お祖父<sup>じい</sup>さんのモハメットと話していたんだ。」とリアズが<sup>さけ</sup>叫びました。

「バブは大人<sup>おとな</sup>になってまさにモハメットのようにになりました。その親切<sup>しんせつ</sup>さ、賢明<sup>けんめい</sup>さ、温和<sup>おんわ</sup>でみんなから愛<sup>あい</sup>され尊敬<sup>そんけい</sup>されました。バブは成長<sup>せいちょう</sup>して商人<sup>しょうにん</sup>となって叔父<sup>おじ</sup>さんと一緒<sup>いっしょ</sup>に働<sup>はたら</sup>きました。商売<sup>しょうばい</sup>ではモハメットのように正直<sup>しょうじき</sup>で信頼<sup>しんらい</sup>される人として有名<sup>ゆうめい</sup>になりました。それから隣<sup>となり</sup>の女<sup>おんな</sup>の子<sup>こ</sup>と結婚<sup>けっこん</sup>しました。

その名<sup>な</sup>は。。。そうそうモハメットの妻<sup>つま</sup>の名<sup>な</sup>は何か憶<sup>おぼ</sup>えている？」

「カディジャ！憶<sup>おぼ</sup>えているよ。その名前<sup>なまえ</sup>好き<sup>す</sup>だから。私<sup>わたし</sup>の名<sup>な</sup>もシャラではなくてこの名前<sup>なまえ</sup>のほうがいい。」とシャラが<sup>さけ</sup>叫びました。

「バブの奥<sup>おく</sup>さんの名前<sup>なまえ</sup>もカディジャ？知ら<sup>し</sup>なかった！」とモナが言う

と、  
「わお！バブとモハメットとまるで双子<sup>ふたご</sup>じゃないか！」とリアズが<sup>さけ</sup>叫びました。

お母<sup>はな</sup>さんが話<sup>はなし</sup>を戻<sup>もど</sup>しました。

「バブは隣<sup>となり</sup>の女<sup>おんな</sup>の子<sup>こ</sup>と結婚<sup>けっこん</sup>しました。その名<sup>な</sup>はカディジャでした。彼<sup>かれ</sup>らは少しの間<sup>あいだ</sup>とても幸<sup>しあわ</sup>せでした。二人<sup>ふたり</sup>にはアーマードという可愛<sup>かわい</sup>い男<sup>おとこ</sup>の赤<sup>あか</sup>ちゃんがいました。悲<sup>かな</sup>しいけど、そのちっちゃんな赤<sup>あか</sup>ちゃんは亡<sup>な</sup>くなりました。」

「あーあ」と女<sup>おんな</sup>の子<sup>こ</sup>たちが一<sup>いっせい</sup>斉<sup>い</sup>にため息<sup>いき</sup>をつきました。



お母さんが続けました。

「カディジャはとても悲しみました。しかし大事な息子にいつかすぐ会える、あの世でみんな一緒になると、バブは彼女に言い聞かせました。」

「あの世と言えは死ぬることでしょう？」とアニサが言いました。

「そうよ。さて、話の続きだけど、その当時1844年のころはペルシャでも世界中どこでも人々は約束された人を待ち望んでいました。その方は新しい時代に新しい教えを伝える、神様が送られた先生です。イスラム教の人々はその約束された方、カイムを待ち望んでいました。キリスト教ではキリストの再来、仏教では弥勒菩薩にあたります。

モラ・フセインがその約束された方、カイムを

一生懸命捜していました。彼はその約束された方がどんな姿をして、どんな人であるべきか、そのリストを持っていました。その人が本物かどうか確かめるいくつかの質問も

用意していました。ある日モラ・フセインはシラズの大きな門を歩いて通りかかっていました。そのとき緑のターバンをかぶった若者が彼の方に近づいてきて、久しぶりに会った兄弟のように抱きつきました。その若者はモラ・フセインを家に招いて休むように言いました。モラ・フセインはとても驚いて、最初は断りました。しかし、その若者がとても優しく誠実だったので、モラ・フセイン



ンは自然と彼について行って、その家に行きました。緑のターバンをかぶった

若者は誰だったと思う？」とお母さんがたずねました。

「バブ！」と子供たちが叫びました。

「そう。」とお母さんが続けました。

「バブの家に着くと、バブはお祈りのために手を洗えるように水を持って来てモラ・フセインの手にかけました。」

「バブはふつうの召使がするようにしたのね、お母さん。」とシャラが言いました。

「その当時はそれが召使の仕事だったのよ。しかしバブはそのようにしてモラ・フセインをどんなに愛しているのか見せたのよ。神様が送られた新しい先生を見つける最初の人だ」とバブはすでに知っておられました。モラ・フセインがそのことを知らなくてもね。



バブとモラ・フセインはその日一緒に夕べの祈りをしました。そのときバブはモラ・フセインに御自分が約束された方だと告げられました。最初モラ・フセインはバブを信じられま

せんでした。しかしバブはモラ・フセインが捜している人が持っている、すべてに当てはまる人でした。バブは旧約聖書のヨセフの物語に秘められた意味



を説明し始めました。この物語はコーランにもあって、モラ・フセ

インはずっと前からその意味が何かを約束された方にたずねようと

おも思っていました。このことは誰にも話していませんでした。しかし、

バブはそのことを知っていたはずねられなくてもモラ・フセインの

すべての疑問に答えられました。そのときモラ・フセインはバブを信じるよう

になりました。モラ・フセインは空に飛んでいるようにとても喜びました。モ

ラ・フセインのように、なんの手助けもなく自分でバブを見つけ出す探検者が

18人になるまでは、このことを誰にも言わないように告げました。これは1

8人の「生ける文字」と呼ばれています。」

「ジョセフのお話聞きたい！」とアニサが叫びました。

「それは、次の機会にね。」とお母さんが話しを続けました。

「バブがペルシャの人々にその教えを広げたのはこれから後のほんの6年間で

した。その後バブは逮捕されて砲弾の犠牲になりました。しかし、その短い間

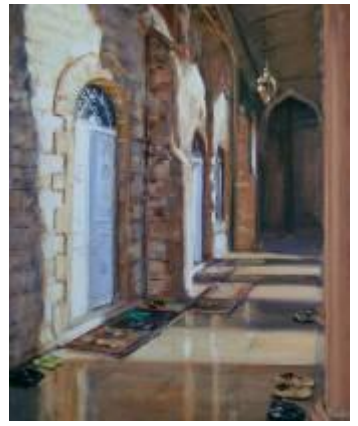
でもペルシャ中の人々はその愛と平和の教えに惹かれ2万人の人たちがその

新しい教えのために生命を捧げました。」

「お母さん、お母さん！」とアニサはお母さんの腕を引っ張りながら言いました。

「バブは私たちの伯父さんの名前と同じね。」すると他の子供たちが大笑いしました。





「ちがうよ。俺<sup>おれ</sup>たちの伯父<sup>おじ</sup>さんはボブだよ。ばかだなあ、お前は。バブ<sup>もん</sup>は門<sup>いみ</sup>と言う意味<sup>つか</sup>で使<sup>なまえ</sup>われた名前<sup>やくそく</sup>だよ。人々は約束<sup>やくそく</sup>された方<sup>もん</sup>、バハオラを見つけて、バブ<sup>もん</sup>と言う門<sup>とお</sup>を通<sup>とお</sup>って行くんだ。」とリアズが叫<sup>さけ</sup>びました。

「私はバブ<sup>やくそく</sup>が約束<sup>やくそく</sup>された方<sup>おも</sup>だと思<sup>おも</sup>っていたわ。」とシャラが首<sup>くび</sup>をかしげながら言<sup>く</sup>いました。

「両<sup>りょうほう</sup>方<sup>やくそく</sup>とも約束<sup>やくそく</sup>された方<sup>おも</sup>だよ！」とリアズは大げさなため息<sup>いき</sup>をついて説明<sup>せつめい</sup>しました。「バブとバハオラはこの新<sup>あた</sup>しい時<sup>じ</sup>代<sup>だい</sup>の双<sup>ふたご</sup>子<sup>かみ</sup>の神<sup>けんじしや</sup>の顕<sup>けん</sup>示<sup>じ</sup>者<sup>しや</sup>だよ。」

お母<sup>お</sup>さんが笑<sup>わら</sup>って首<sup>くび</sup>を振<sup>ふ</sup>りました。

「リアズ、お前<sup>お</sup>は時<sup>とき</sup>々<sup>とき</sup>驚<sup>おどろ</sup>かせるのね。人<sup>ひと</sup>の話<sup>はなし</sup>をちやんと聞<sup>き</sup>いているのね！誰<sup>だれ</sup>がそう思<sup>おも</sup>うかしら？」

「分<sup>わ</sup>かった、分<sup>わ</sup>かった。もういい。」とリアズはほめられて恥<sup>は</sup>ずかしそうに叫<sup>な</sup>びました。「アスマ、お前<sup>お</sup>が鬼<sup>ま</sup>だつたよ。さあ鬼<sup>おに</sup>ごつこ続<sup>つづ</sup>けよう！」

子供<sup>こ</sup>4人<sup>ご</sup>は互<sup>たが</sup>いに叫<sup>さけ</sup>びながら、スケート<sup>の</sup>に乗<sup>の</sup>ってあそびにいきました。アニサ

は走<sup>はし</sup>ってその後<sup>あと</sup>を追<sup>お</sup>い、

お母<sup>お</sup>さんはスケ

ッチ<sup>つづ</sup>を続<sup>つづ</sup>けました。



## クイズ

1. 2 ページのバブの言葉の中で、御自分が誰であると言われましたか？  
\_\_\_\_\_
2. バブの誕生日にお母さんは何を準備しましたか？  
\_\_\_\_\_
3. バブはいつ、どこでお生まれになりましたか？  
\_\_\_\_\_
4. モハメッドとバブがよく似ているのはどんな点ですか？  
\_\_\_\_\_
5. バブの先生がコーランを読むようにバブに求めたとき、何が起きたか？  
\_\_\_\_\_
6. バブのお母さんは何をすることにあまり時間をかけなくてもよいと、バブに言ったのでしょうか？  
\_\_\_\_\_
7. バブがたくさん祈りをするのは何故だとバブは言いましたか？  
\_\_\_\_\_
8. バブが御自分が約束された方だと最初に教えたのは誰でしたか？  
\_\_\_\_\_
9. バブは何という意味ですか？  
\_\_\_\_\_

どうでしたか？全部答えられましたか

答えは保護者のページのお話のあとにあります。



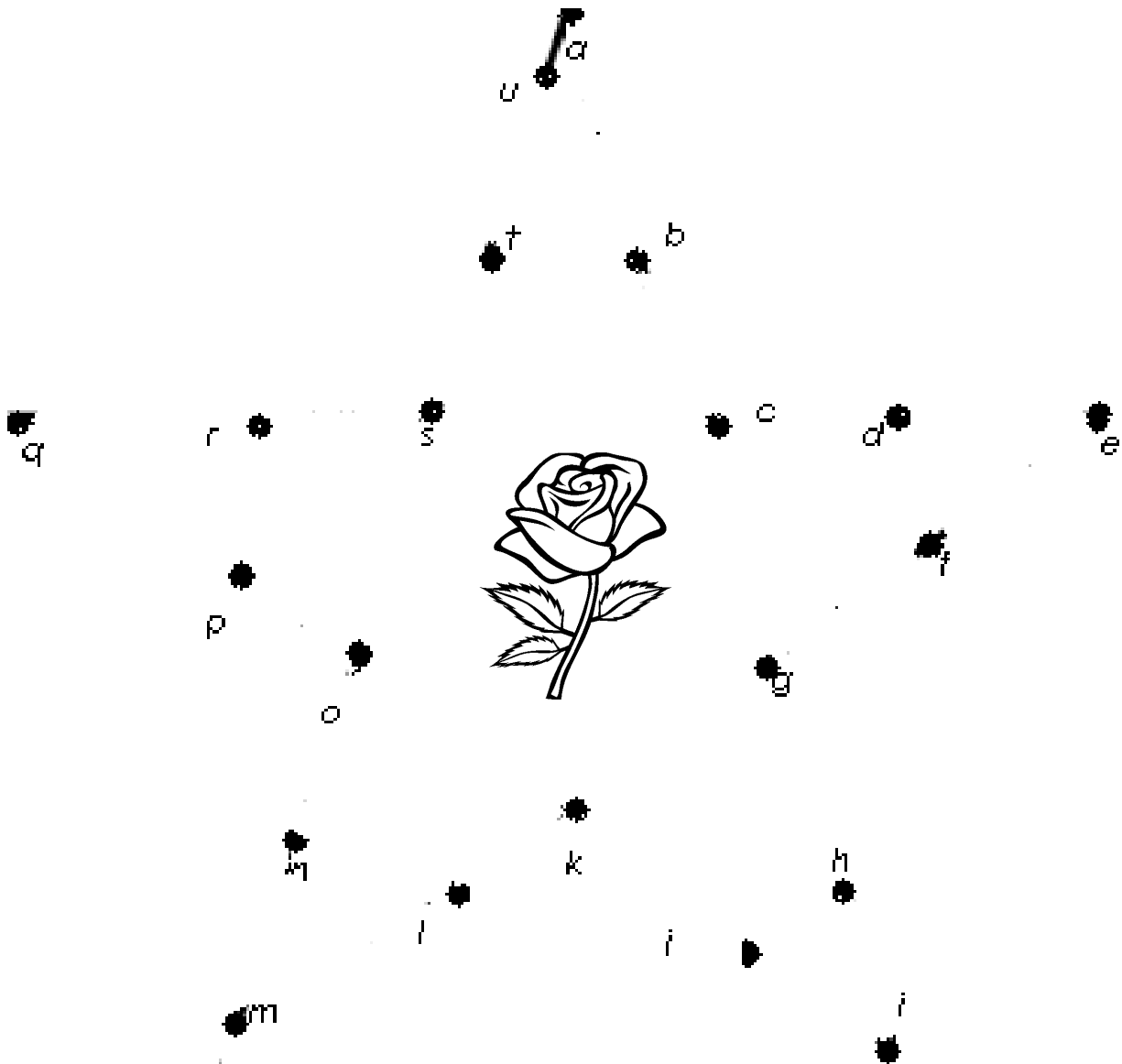
# ぬり絵

a から b へ....

b から c へ....

点を全部つないで絵を完成してみましょう。

絵はバブのシンボル。



abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

## こうさく 工作

### ざいりょう 材料

下の絵を印刷して切り取る。(もっと大きい絵にしてもよい。)

くろ もぞうし いちまい 絵の だいし にかみ  
黒の模造紙一枚、絵の台紙になる紙なんでも一枚

みどり 緑、ピンク、きいろ あか などの (いろがみ、ティッシュまたはフィルム)

カッター

だん 段ボールの紙 (下の絵をくろ もぞうし から切り取る時のしたじ つかう。)

のり

### つく かた 作り方

くろ もぞうし  
黒の模造紙の上に下の絵をのせ

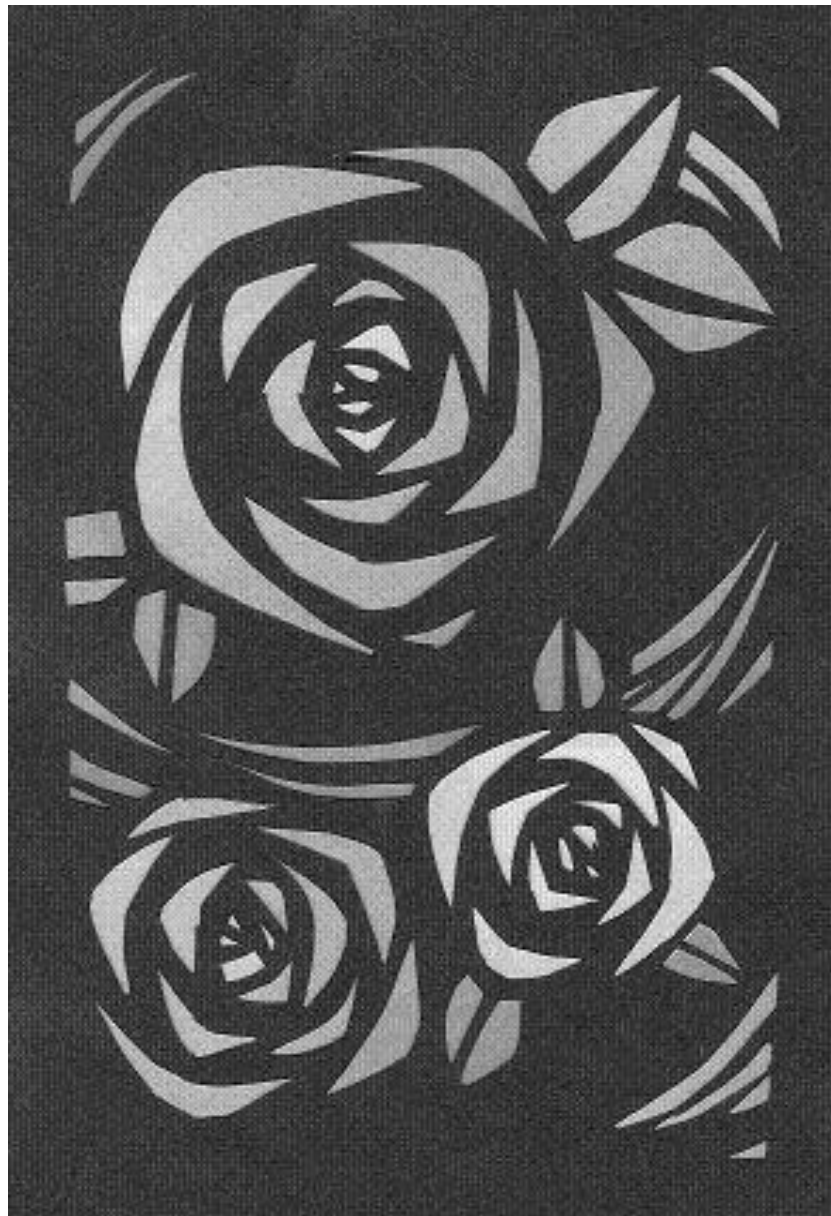
る。これをだん 段ボールの紙の上のにせる。

カッターで絵のえ しろ ぶぶんを切り抜く。(小さい子供には先生がこれをする。)

切り抜いた部分のうら は みどり、  
はな はな はピンク。きいろ あか などの

いろがみ は  
色紙をのりで貼りつける。

できあがった絵をだいし は  
て固定させる。





みんなの写真



## 保護者のページ

アブドル・バハは神の顕示者の生まれつきの知識について説明されています。生まれつきの知識とは習わないで備わっている天性の知識のことを言います。それは神様から直接来る知識です。神の顕示者である、これらの偉大な先生は教えられなくても、この知識を持っています。

「太陽は自らの光を放射し、他の光源から光を得るものではありません。聖なる教育者たちは内に宿る天来の光を持っているのです。彼らは宇宙に存在する全てのことについての知識と理解を有するのです。世界は彼らから光を得るのです。そして、学問や科学はいつの時代でも彼らを通じて再生されるのです。」

私たちはこの号のバブについての話の中から神の顕示者であるバブには、この天性の知識が備わっているのが分かります。前号のモハメットにもその知識がありました。似たような話が仏様、イエス、バハオラやそのほかの神の顕示者にもあります。

これらの偉大な先生はほんの幼い子供のときでさえ不思議な知識と知性がありました。子供にこの話をすると子供たちは心からこれらの偉大な先生を愛するようになります。

バブのお母さんは息子がまだ幼い少年なのにお祈りに時間をかけすぎると思っていました。彼女は神の恵みを受けた息子の能力に気付いていませんでした。

私たちの子供は生まれつき知識を持っていなくても子供が神を知り崇拜し、精神的真理を理解する能力を低く見ることがないように気をつけましょう。多くの場合子供たちは純粋なので私たち大人より早くもっと深くこれらの事実を理解できます。

「毎日夜明けに、バハイの子供たちを集め、その子らに神と語り、神に祈ることを教えなさい。子供たちが毎朝、神の王国に顔を向け、主のことを述べ、神の御名を称え、甘美な声で朗唱することは、最も称賛される行いであり、子供たちの心に喜びをもたらします。」とアブドル・バハは私たちを励ましています。

バハオラもいろいろなところで子供たちに神の言葉を教えるように言われています。

「汝ら、神によって啓示された聖句を子供たちに教えよ。そうすれば、子供たちはそれを最も美しい旋律をつけて暗誦するでしょう。」

### クイズの答え

1) 約束された方 2) バブの誕生日 3) 1819年、ペルシャのシラズ 4) 二人とも神の顕示者で、子供の時、父親を亡くして商人の叔父に育てられ、商人になり、妻の名がカディジャでした。 5) 意味も分からずにコーランを暗唱しないと先生に説明しました。 6) お祈りすること。 7) 「先祖のお祖父さん、モハメットのようになって、神様と話せるようになりたい。」と言いました。 8) モラ・フセイン 9) 門



皆さんのお子様のバハイ活動でみんなに役に立つ  
いいお話、又は写真などがあれば、送ってください。  
vb7mb7@bma.biglobe.ne.jp に送ってください。

## ひるの星

N o . 248

2011年12月発行

ひるの星をカラー印刷するには以下のリンクにアクセスしてください。

<http://www.bahaijpn.com/daystar.htm>

日本バハイ全国精神行政会

〒160-0022 東京都新宿区新宿7丁目2番13号

電話：03-3209-7521 FAX：03-3204-0773

ひるの星委員会：平原静志、平原ルアナ、原奈緒、エダナ・アルマンザ

## 協力

物語：平原ルアナ、

和訳：平原静志

写真：安岡直子、平原ルアナ、ジャーナルダン

絵：ステイファン・パスカル、ラリー・カーティス、平原ルアナ、サナ・マジズーブ、

デール・モード、平本かおり

テクニカル・アドバイザー：尊田望

監修：平野祐一